

最新版プログラムのダウンロード

EX-TREND武蔵 シリーズ

FCコンシェルジュの「最新版プログラムのダウンロード」サービスを利用して、最新のプログラムをインストールする方法を解説します。

1. プロテクトの更新は、お済みですか？

バージョンアップしたプログラムは、プロテクトを更新しないと使用できません。

まだ更新していない場合は、プロテクト更新の画面に戻って、プロテクトの更新をおこなってください。

2. プログラムをダウンロードしてインストールします

プログラムをダウンロードしてインストールする方法には、次の2種類があります。

お客様のご利用環境に適したインストール方法を選択して、インストールしてください。

▼ インターネットから直接インストール【推奨】

武蔵がインストールされているコンピューターで、更新されたプログラムをダウンロードして直接インストールします。インストール開始までの時間が少なく、簡単な操作でバージョンアップする事ができます。

▼ 全体ファイルを保存してインストール

インストールに必要なファイルを全てダウンロードして保存した後、保存したファイルを実行して、プログラムをバージョンアップします。

また保存したファイルをDVDやUSBメモリなどにコピーして、複数のコンピューターへのインストールに使用することができます。

バージョンアップの手順については、次ページからをご覧ください。

※動作環境については、巻末(7ページ)をご覧ください。

その他のツール類についても、必要に応じてダウンロードしてご利用ください。

▼ 各種ツール [積算連携ツール、テンプレートなど] (※1)

▼ TREND-ONE⇒建設CADコンバーター (※1)

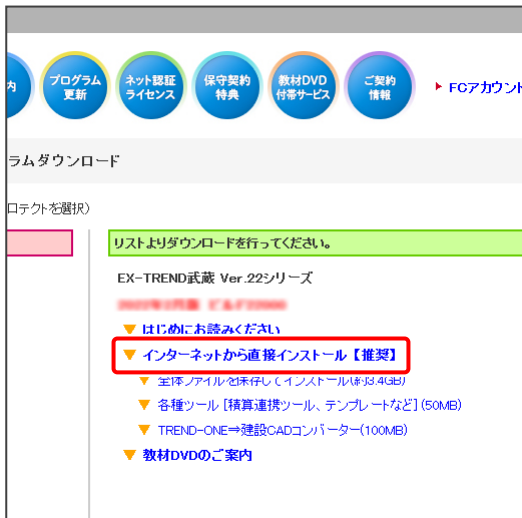
(※1) ダウンロードしたファイルにある " FCSet-up.exe " を実行して、インストールしてください。

1 インターネットから直接インストール

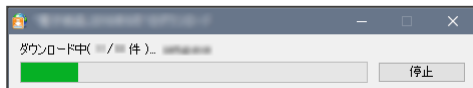
EX-TREND武蔵シリーズのプログラムを、「インターネットから直接インストール」でインストールします。

※ 「全体ファイルを保存してインストール」でインストールしたい場合は、6ページの「補足1:全体ファイルを保存してインストールについて」の手順を参照してください。

1. 最新版へのアップグレードページで、「EX-TREND武蔵 シリーズ」の「インターネットから直接インストール【推奨】」をクリックします。

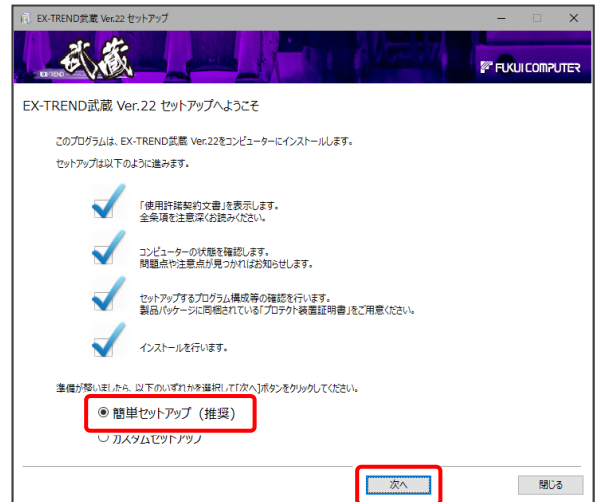


2. ダウンロードが開始されます。

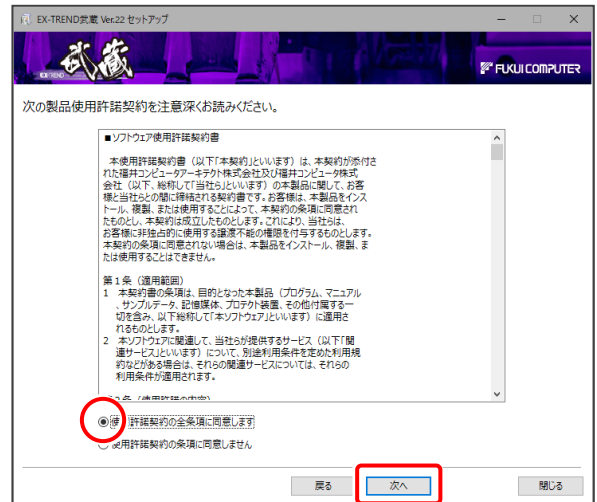


3. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

[簡単セットアップ(推奨)]を選択します。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。

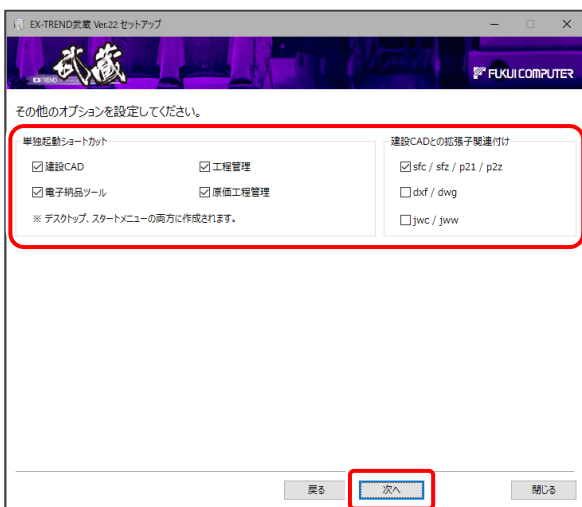


(次ページへ続く)

コンピューターの時計を確認します。
日時がずれていると、ライセンスの認証が正常に行えません。右側のボタンをクリックして、正しい日時を設定してください。



その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



- ※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくてもプログラムを起動することができます。
 - ※ 「建設CADとの拡張子関連付け」を「オン」にした図面ファイルは、ダブルクリックすると「建設CAD」で開くようになります。
 - 単独起動ショートカット：すべてのチェックを「オン」
 - 建設CADとの拡張子関連付け：sfc/sfz/p21/p2z を「オン」
- でインストールすることをお勧めします。

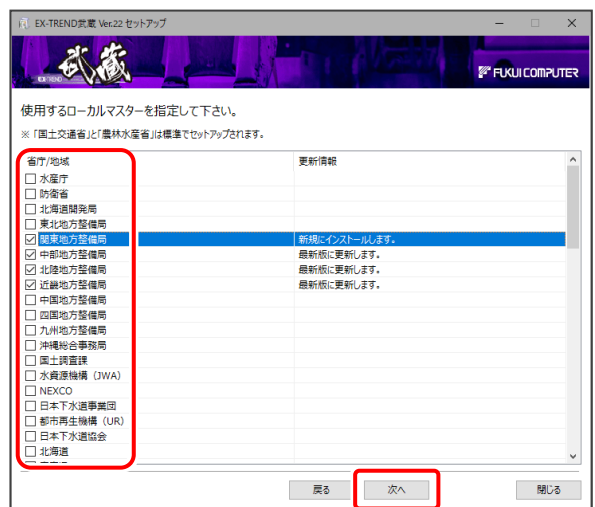
ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。

受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

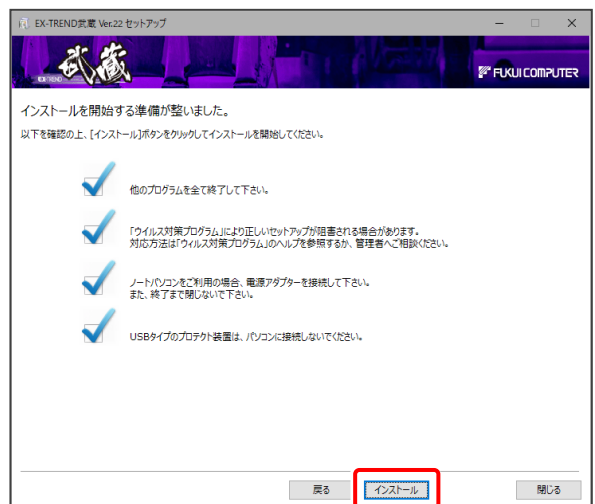
旧バージョンで使用していたローカルマスターのチェックボックスは、オンになっています。

追加や削除がある場合は、設定を変更してください。(追加・更新するローカルマスターは「オン」、削除するローカルマスターは「オフ」にします。)

設定を終えたら、[次へ]を押します。

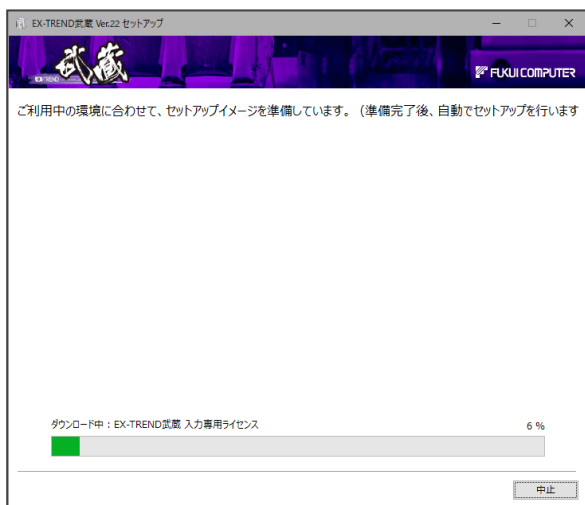


内容を確認して、[インストール]を押します。



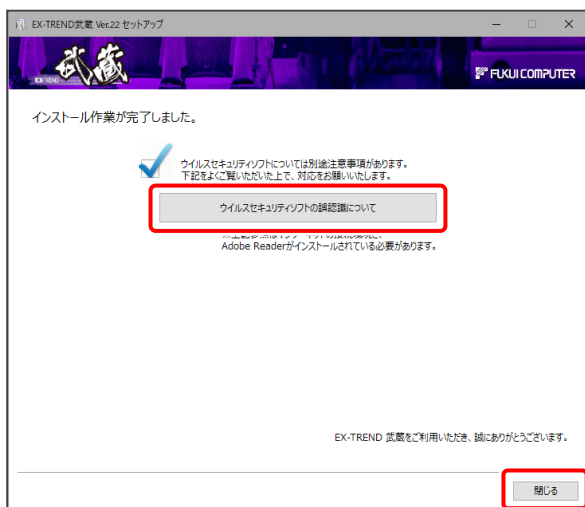
(次ページへ続く)

プログラムのダウンロードと、インストールが開始されます。



インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



プログラムの一括インストールは完了です。

続いて次ページ「入力専用ライセンスの更新」に進みます。

「各種ツール」「TREND-ONE⇒建設CADコンバーター」などは、必要に応じてインストールしてください

リストよりダウンロードを行ってください。

EX-TREND 武蔵 Ver.22シリーズ

ダウンロード容量: 約3.4GB

- ▼ はじめにお読みください
- ▼ インターネットから直接インストール【推奨】
 - ▼ 全体ファイルを保存してインストール(約3.4GB)
 - ▼ 各種ツール [積算連携ツール、テンプレートなど] (50MB)
 - ▼ TREND-ONE⇒建設CADコンバーター(100MB)
- ▼ 教材DVDのご案内

※ 現在、「TREND-ONE⇒建設CADコンバーター」をお使いのお客様は、必ずダウンロードしてインストールしてください。

旧バージョンのコンバーターは、新バージョンのプログラムでは動作しません。

インストール方法

ダウンロードしたファイルにある "FCSet-up.exe" を実行してください。

ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、EX-TREND 武蔵が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

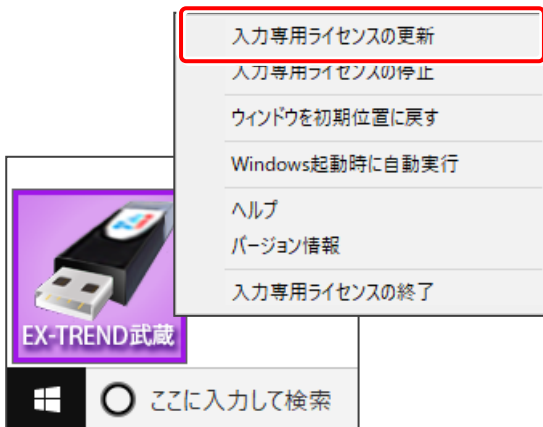
3 入力専用ライセンスの更新

バージョンアップ時には、入力専用ライセンスのライセンス情報を更新する必要があります。
ライセンス情報を更新しないと、バージョンアップしたプログラムを入力専用ライセンスで使用することはできません。
ネット認証ライセンスの場合は「認証済みの状態」、USBプロテクトの場合は「プロテクトを装着した状態」で、
入力専用ライセンスの更新を実行して下さい。

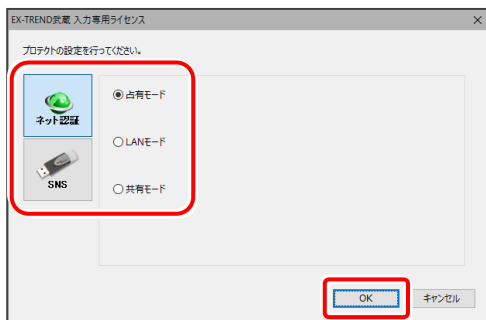
1. デスクトップの[入力専用ライセンス]をダブルクリックして起動します。



2. デスクトップ左下の[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの更新]コマンドを実行します。



3. [ターゲット]で、使用しているプロテクト装置を選択して、[OK]を押します。



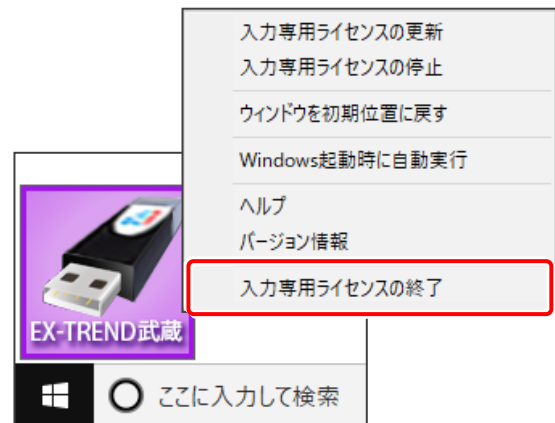
[LANモード] (LAN)を選択した場合は、LANプロテクトを装着しているサーバー名を入力してください。



4. ライセンス情報の更新を終えたら、入力専用ライセンスを終了します。

起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作してしまいます。

[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの終了]コマンドを実行します。



入力専用ライセンスの更新は完了です。

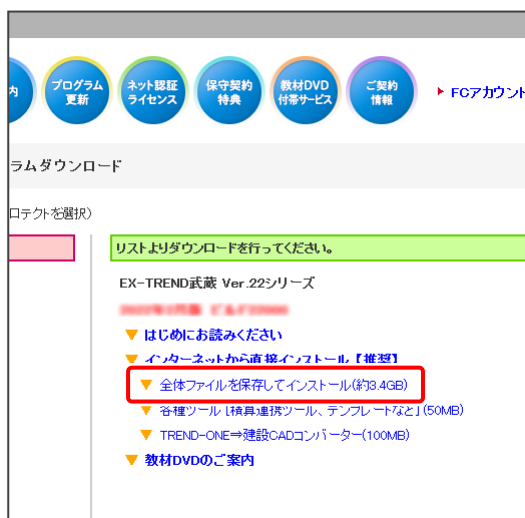
以上でバージョンアップは完了です

補足1 全体ファイルを保存してインストールについて

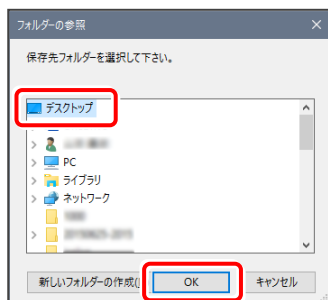
複数のコンピューターでEX-TREND武蔵シリーズをお使いの場合は、全体ファイルを保存し、DVDやUSBメモリにコピーしてインストールに利用した方がダウンロード時間を短縮できます。またインターネットに接続していないコンピューターがある、接続回線が遅いなどの場合にも、ご利用ください。

※ 通信環境、時間帯によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。そのようなときは、別の時間帯で再度お試しください。ダウンロードを中止しても、また続きから再開されます。

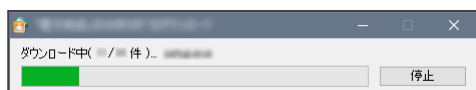
1. 最新版へのアップグレードページで、「EX-TREND武蔵 シリーズ」の「全体ファイルを保存してインストール」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先(デスクトップなど)を指定して、[OK]をクリックします。



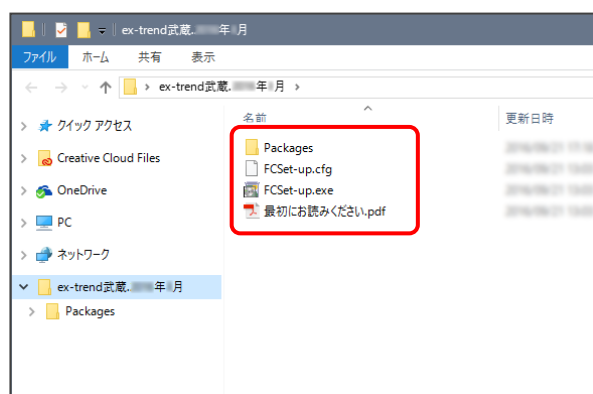
3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[×]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了すると、エクスプローラーが開かれます。

複数のコンピューターのインストールに使用する場合は、保存した全体ファイルをDVDやUSBメモリにコピーしてご利用ください。



以上で、全体ファイルの保存は完了です。

全体ファイルにある"FCSet-up.exe"を実行することで、お使いのEX-TREND武蔵シリーズを最新バージョンに更新することができます。

(以降の手順については、2ページからを参照)

EX-TREND武蔵 動作環境

OS (※1)	Windows 11 (64bit) Windows 10 (32/64bit) Windows 8.1 (32/64bit)												
CPU	Core i5以上												
必要メモリ	32bitOS: 推奨 3.0GB (最低2.0GB 以上) 64bitOS: 推奨 4.0GB (最低2.0GB 以上)												
必要HDD容量	2.0GB 以上												
必要解像度	推奨 1600 x 1200 (最低1280 x 1024 以上)												
その他	<p>VIDEO : OpenGLをサポートするグラフィックボード(「建設CAD」の[3D]コマンド実行時) VIDEOメモリ : 64MB以上(推奨128MB以上、「建設CAD」の[3D]コマンド実行時) Google Earthデータを閲覧するにはGoogle Earth™を別途インストールする必要があります。 一部の機能を利用するためには Microsoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。</p> <p>●Microsoft Office (Excel) : 書類作成機能/CAD連携機能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バージョン</th> <th>サービスパック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>365 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2021 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2019 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2016 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2013 (32/64bit)</td> <td>SP1 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「ストアアプリ版」のOfficeがインストールされている環境では、一部機能が正常に動作しません。「デスクトップアプリ版」のOfficeをご利用ください。</p>	バージョン	サービスパック	365 (32/64bit)		2021 (32/64bit)		2019 (32/64bit)		2016 (32/64bit)		2013 (32/64bit)	SP1 以降
バージョン	サービスパック												
365 (32/64bit)													
2021 (32/64bit)													
2019 (32/64bit)													
2016 (32/64bit)													
2013 (32/64bit)	SP1 以降												

(※1) 64bit版上で動作させる場合、64bitネイティブアプリケーションとしてではなく、32bitアプリケーションとして動作しますのでご注意ください (WOW64対応)。

※ 上記動作環境は2022年2月時点のものです。動作環境は予告なく変更する場合があります。

※ プログラムによっては動作環境が異なる場合があります。

※ Office製品は、Microsoft社製のものに限ります (Office互換製品は保証対象外)

※ Microsoft365 (旧Office365)は、「インストール版」のみ動作保証します。

ブラウザーで参照可能な「オンライン版」のMicrosoft365 (旧Office365)は動作保証外となります。

※ 動作確認テストは、動作環境で行っております。

※ Windows10以外のアップグレードしたOSでの動作は保証外です。

※ 仮想マシン上での動作は保証外です。

※ 必要HDD容量は、データの大きさにより異なります。

※ CPUは、Intel社製 Coreに限りません。

※ プログラムのインストール時にDVD-ROMドライブまたはネットワーク環境などのDVD-ROMを認識できる環境が必要です。

※ 「施工計画書作成支援」および「インデックスの書類作成機能」はOffice2013、Office2016、Office2019、Office2021のいずれかが別途インストールされている環境が必須です。(64bit版の場合、「施工計画書作成支援」では、一部動作に制限があります)

※ プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。

※ データやLANプロテクト等のルーター越えでの運用はプログラム動作保証外です。

ルーター越えの運用とは、場所の離れた拠点 (例えば支店や営業所) から本社に設置しているサーバにあるデータやLANプロテクトのライセンスを取得するケースとなります。

※ ヘルプ機能を利用するためには Microsoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。